

イノベーションと人材育成の課題

有信 睦弘

科学技術人材育成コンソーシアム代表

東京大学監事

日本の将来の生産人口から、現在の生活基盤を維持し続けるためには、一人あたりの価値生産性を少なくとも現在の2倍にしなければならない。しかし、現在の労働生産性は先進国中でも低く、知識集約型企业も増加していない。人材育成とイノベーションが不可欠である。

一方で義務教育終了時に知的レベルの高い子供たちの数は決して少なくなく、高校でその能力を伸ばす必要があるが、特に中位以下の生徒の高校での授業理解は低く勉強時間は減少しており、高校教育の課題である。

日本の大学教育はかつては高度経済成長を牽引する人材を輩出してきたが、近年は、日本だけが大学進学者が減少しているし、大学教育に対する社会や学生の評価も高くない。一方で、グローバル企業は外国での採用に傾斜している。

このような状況の中で、高校・大学教育の改善・改革の施策がとられてきており、それらを確実に実りあるものにする必要がある。人材育成を国際的な視点で進め、イノベーションを牽引するグローバルな視野を持った工学系人材の育成が急務である。